

「情報家電・ブロードバンド・IT」産業発掘戦略の概要

- ・ 現行ブラウン管に比べ消費電力が1 / 3以下の壁掛テレビの実用化
- ・ 高齢者・障害者等にとって使いやすい先端機器の実用化

1. 将来実現される社会像

ITを活用して多様な情報・知識の入手・共有・発信等の国民の潜在需要に応えることにより、経済的・文化的・精神的に豊かな国民生活が実現（「ITライフスタイル革命」）

また、我が国の人口の急速な高齢化の進展に対応して、高齢者等が活躍できるIT環境が世界に先駆けて実現

上記を支える共通基盤としての「自由かつ安全な情報空間」が実現

< 将来実現される社会像（抜粋） >

- ・ 個々の家庭や個人（高齢者も含む）の多様な嗜好に応じて、家庭にしながらショッピングや映画鑑賞ができる。
- ・ インターネットによる対話型の学習など、知的・文化的創造力の向上等が得られる学習環境が実現する。
- ・ 在宅勤務の普及や労働に関する意識等の変革により、通勤から解放されたワークスタイルの選択が可能となる。
- ・ どこでも又は移動しながら、情報入手・発信・利用ができる。
- ・ ITを活用したグローバルかつ高度なビジネス環境、経営・組織・業務の構造改革、大幅な効率化が実現する。
- ・ 患者の自由な選択による質の高い医療、在宅・テーラーメイド医療、地理的条件に制約されない遠隔医療・介護が実現する。
- ・ 多様な機器が無線・有線を含めてスムーズに接続し、自由かつ安全に多様な情報をやりとりできる“情報空間 Japan”が実現する。
- ・ アジアにおける自由かつ安全な情報空間が実現する。

2. 戦略目標及び具体的行動計画

（1）戦略目標

国民、産業界、政府等共有の目標により、国民の潜在需要を発掘

< 戦略目標（3～5年）（抜粋） >

- ・ 現行のブラウン管に比べ消費電力が3分の1以下の壁掛テレビの実用化、高齢者・障害者等にとって使いやすい技術の実用化
 - ・ テレワーク人口の拡大（2007年:560万人）
 - ・ 自由な情報空間におけるセキュリティ技術の確立
 - ・ 在庫・物流管理等へのICチップの活用や、経営情報等の把握
 - ・ 分析に資する統合業務ソフトの普及
 - ・ ビジネス用多言語自動翻訳システムの実用化
 - ・ 遠隔医療や介護支援等の技術革新とシステムの全都道府県導入
 - ・ IPv6（注）の普及等による情報通信関連市場の拡大
 - ・ インターネットのグローバル・ガバナンスへの貢献とアジアにおけるインフラ空間の開発
- （注）IPv6（アイ・ピー・バージョン・シックス）：インターネット上の通信規約の次期規格の名称。アドレス数の格段の増大等、セキュリティ機能の充実等が図られる。

（２）具体的行動計画

戦略技術への政策資源の重点的投入

(a) 政府調達・実証・技術開発支援

- ・ 政府調達による新技術の先導等
（新技術に係る市場の立ち上げにおいて政府調達が有効）
＜例＞高齢者等に配慮した先進機器、
政府の会議におけるテレビ電話システム
- ・ 技術の実証等
＜例＞IPv6関連技術、超高速ネットワーク
- ・ 重要なシステム・技術の開発支援
＜例＞大画面・薄型・省電力テレビ、音声自動翻訳技術

(b) 中長期的な研究開発投資

(c) 融合技術開発等

(d) IT投資減税・研究開発税制

産学官の連携

国際標準化活動に向けた対応

知的財産権問題への対応

環境整備

人材育成等の推進